



新おめでとう
年こざいます

緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

ラスト40日・・・もうひとつの 確かなアクションで次へ！

令和2年、雪の少ない新しい年を迎えました。2日目の今日からは、玄関で元気な声のあいさつ運動も始まり、後期後半を順調にスタートしています。

14日の冬休み明け集会では、各学年の代表の子どもたちが、冬休みの楽しかったことやがんばったことを発表しました。家族とスキーや温泉、旅行などに行ったことも紹介されて、アットホームなひとときが感じられました。



その中でも、3年生の大澤凜斗さんは、クリスマスにサンタクロースからもらった“けん玉”の練習に燃えて、次は1級を目指してがんばっているという技を披露してくれました。これがまた、ものすごい上手！



そのすごさは見ていましたが、また一段とうまくなってびっくりしました。自分の好きなことに一生懸命になれるって、とってもすてきなことだなあと感心しました。



それから、新年に新しい仲間になるお友達が教頭先生から紹介されました。1年生の「〇〇〇〇」さんです。朝から1年生は大歓迎、大歓声で出迎えてくれていました。

卒業式までは、残り40日程の登校日です。修了式までは43日。まずは、今の学年で身に付けたい知・徳・体である、しっかりと今の学年の勉強を身に付けて、やさしさやがまんをする心と健康な身体づくりに向けて、どの子にも、もう一つだけ成長を目指していきたいと考えています。変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。



雪の少ない冬・・・？ ～雪は寄せなくていいから 楽だけど～

学校では、雪の少なさに対応しながら、スキー授業の計画の見直しも考えています。日程の変更等については、天気を見ながら早めに判断したいと考えています。17日には、ある程度の方向性をお知らせします。各学年からの変更のお知らせへのご協力をよろしくお願ひします。



それにしても、この雪の量は今年だけなのでしょう？地球温暖化の影響で、ずっとこのままなのでしょう？実は、2月にちゃんと降る？異常気象が異常といえなくなってきたこの頃です。子どもたちが生きていく将来の地球がとても心配になります。

そして、県内の冬まつりはだいじょうぶかな？春の横手盆地を潤す恵みの雪解け水は？

学校が始まった14日(火)、先生方みんな、通学路の点検と安全指導をしました。学校近くのロータリーは、歩道が整備され、斜め線のゼブラゾーンを取り入れるなど、だいぶ歩行者ファーストらしく整理されました。それでも、積雪があると歩道の境も見えなくなります。西側から入るところには一時停止もなく、不慣れな運転者も見られます。保護者の皆様も、くれぐれもご注意ください。

なお、学区内では、道路や橋の穴ぼこの修繕や川の改修工事も続いていますし、電柱の工事も多くあります。「自分の命は自分で守る」ためにも、状況判断して歩くことを学年に応じて教えていってください。

また、積雪後は用水路の水量がとても多くなり、かなりの速さで流れていて心配です。春にかけては、用水路の危険についても、十分に教えておかなければなりませんね。

新年にあたって

年度のしめくり

学校が新しい年を感じるのは、やはり4月の春。ですから、学校では、新年のスタートにあたってというよりも、学年や年度のしめくりの方に目と心が向いていきます。冬休み集会では、子どもたちに次のような話をしました（要旨です）。

今の学年の残り3か月も「自分で考える」ことと「声を出すこと」を目標にがんばりましょう。歌うことや教室で発表することは、自分の考えをもって伝えていくということにつながる大事なものです。大人になって仕事をするときには、特に必要な力。

友だちの声が自分に届いて、自分の声を友だちに伝えて、みんなでがんばりを感じ合ってほしい。校長先生も小学生の頃は、教室で手を挙げるのが、すっごく恥ずかしかったけど、何回もチャレンジしたから、だんだん話せるようになりました。

そして、まちがうことをこわがらないで、後期の始まりに話した「『×』オッケー！」「『？』最高！」ということへのチャレンジを、6年生はあと6年で成人です（令和4年度からは18歳成人）。つまり、あと6年で大人になるのです。大人はみんな失敗しているし、まちがうことを何回も経験して成長しています。

校長先生は、小学生の頃は、勉強より外遊び。中学生高校生の頃は、勉強よりも部活動と、勉強よりも好きなことばかりやっていました。そしたら、大学受験に2回も失敗してしまいました。とってもつらかったです。反省するのが遅すぎました。

みなさんの中にも、できるのにまだ楽しんでいる人、がんばれる人がいっぱいいます。今のうちに、いろいろなことにチャレンジして、失敗する経験をしてほしいと思います。

さて、これからの後期後半は、学校にとっては「しめくり」と次への「橋渡し」の大事な季節となります。卒業式までは残り43日。6年生にとって、「みんなと創る」「楽しい学校」のゴールとなる、“心”のある式を迎えたいと願っています。1年生から5年生の皆さんは、6年生がいなくなっても、横堀小学校が楽しいすてきな学校であり続けるために、がんばっていきましょう。特に5年生には、その準備をお願いします。

先生方も、今のメンバーで、もう一つレベルアップにチャレンジしていきます。

子どもたちにとっては、残り40日が次へとつながる貴重な日々となります。しっかりと、自分にできることは任せて、難儀させませんか？家庭で取り組むことができる一丁目一番地は「家庭の家庭学習」です。もう一度「表紙」にある「夢」を確かめ合って、あと一歩だけがんばる自分に出会わせてあげてください。

「はじめてのおつかい」を見て、いつも笑って泣いている私です。お正月の番組でも、また涙を流した親の姿がいくつかありました。

☆不安で、いやで泣いてても、ゆっくり上手に心のスイッチを入れてあげるお父さん。

※自分の都合よりも、ここぞとばかりに子どもたちの心に寄り添う姿でした

☆心配でついて行きたいけど、ずっと窓から見守っているお母さん。

※勇気を出して任せてみて、やり遂げる子どもをずっとずっと信じていました

☆頼んだものとは違うものを買ってきて、「ありがとう」とほめてあげるお母さん。

※頼んだことをやり遂げようとした子どもの行動に「ありがとう」ですね

2020年のスタート！ 横堀のどこの家庭でも、学校でも、
「はじめての○○○」に どんどんチャレンジさせてあげませんか？
大人の仕事は、スイッチを入れて、見守り、ほめてあげること！



みんなのがんばり紹介

☆CGC全国児童画コンクール 入選6年 安部美羽

☆大曲仙北児童生徒新年書き初め展

※全校児童が賞状をいただいています。学年報をご覧ください。

☆基本的人権に関する感謝状 大仙市立横堀小学校

※これまでの人権標語作品の積極的な応募等が認められ、秋田地方法務局と秋田県人権擁護委員連合会から学校に感謝状が贈られました。



※1月の横堀小は、インフルエンザゼロからのスタートです。

それでも、県内では、まだ収束したとはいえませんが続いています。

みんな元気に登校できるように、予防対策をよろしく願いいたします。